

夢中熱中青春ライフ!



29

大館親子読書会

世相を反映して、子供たちの活字離れがどんどん進んでいるといわれています。

今回は、図書館などで絵本や紙芝居などの「読み聞かせ」を通じ、子供たちに読書の楽しさを知ってもらうために活動を続けている、「大館親子読書会」会長の成田和子さんにお話を伺いました。

一緒に勉強しましょう

若いお母さんたち

読書会は、昭和五十二年に読書好きな主婦が集まって結成したのが始まりです。会が長く続いたのは、あまり無理をせず、

会員の自主性を重んじてきたからだと思っています。

現在会員は十四人ですが、よその街から転入してきた人もメンバーの中にいます。

会としては、若いお母さんたちにも是非入会してほしいと思っています。

会の活動としては、自分たちの勉強の場としての読書サークル活動と子供たちに絵本や紙芝居を読み聞かせする活動の二つですが、毎月一回会員同士が課題図書を選び、その読後感を語りあったりもしています。

喜ぶ子供の

顔が楽しさ

会結成当時は、自分たちの子供にどんな本を与えたいのか勉強する会でしたが、その後



「こぶとりじいさん」を演ずる会員

本を読まなくなった子供たちに絵本のほんとうの楽しさを知ってもらいたいということで、図書館を中心に、読み聞かせの会や母と子の絵本を楽しむ会を続けてきました。読み聞かせをしていて、くいいるように絵本を見つめる子供たちに気付いた時、練習の時の疲れも吹き飛んで、うれしくなってくるんです。

読書教育の一環で、市内の小学校で読み聞かせすることもあつるし、高校生の人たちが読み聞かせに参加してくれるようにもなりました。だんだん活動の輪が広がってきている気がします。

ささやかなサークル活動ですが、昨年、県児童健全育成功労・知事表彰をいただき、とても喜んでます。私たちの活動が、一人でも本が好きな子供を増やすきっかけになればいいなと思っています。

横浜発 → 大館着



前略

大館市民になりました

③〇

☆今回は狐台の佐野勇一さんご一家です。

Q・ご家族は何人ですか?

妻の陽子と長男の司の三人です。

Q・どちらからおいでになりましたか?

今年の四月に転勤で横浜市から来ました。

Q・大館の印象はいかがですか?

温泉が多いということと、自然がそのままたくさん残っているなあという印象を受けました。前は海の近くに住んでいたんですが、大館に来たら木々の緑が多いのでうれしくなりました。

それから、十和田湖など素晴らしい観光地が近くにいっぱいあるんですね。これから温泉めぐりや観光地めぐりなど家族と一緒に出かけるのを楽しみにしています。

Q・食べ物や言葉はどうですか?

スーパーの食べ物の品ぞろえなども足りないということはないし、あまり不便はないです。こちらにきてから食べ物では豆腐、特によせ豆腐がおいしいと思いました。

言葉については、不便を感じたことはないです。マスコミの影響でしょうか、若い人はほとんど共通語で話していますよ。

Q・大館にどんなことを望みますか?

妻は、買い物の時、バスの便が悪くて不自由なようです。もう少し本数を増やしてほしいですね。それと、図書館にコンピューターを入れると返却の時などもっと便利になると思います。



勇一さんと奥さんの陽子さん長男の司くんです